

アービタックス・mFOLFOX6療法を受けられる患者さまへ
(アービタックス・エルプラット・レボホリナート・5-FU)

この治療で使用する内服薬・注射薬についての説明書です。わからないことや困っていることがありましたなら、いつでもご相談ください。また、何か異常を感じた場合は、すぐにご連絡ください。

《お薬の作用》

| 薬剤名 | 経路 | 主な作用 |
|-----------|----|---|
| アービタックス | 注射 | ヒト上皮細胞増殖因子受容体(EGFR)を標的とする薬剤です。EGFRに結合することでがん細胞内のシグナル伝達を妨害して、がん細胞の増殖や転移を阻害します。 |
| エルプラット | 注射 | 抗がん剤です。(がん組織を直接攻撃します。) |
| 5-FU | 注射 | 抗がん剤です。(がん組織を直接攻撃します。) |
| レボホリナート | 注射 | 5-FUの作用を強めるために使用します |
| デカドロン | 注射 | アレルギー症状や吐き気を抑えるために使用します。 |
| アロキシ | 注射 | 吐き気を抑えるために使用します。 |
| イメンド | 内服 | 吐き気を抑えるために使用します。 |
| レスタミンコーワ錠 | 内服 | アレルギー症状を抑えるために使用します。 |

《投与スケジュール》

- ・ アービタックス投与30～60分前に、レスタミンコーワ5錠を内服し、さらに、デカドロン・アロキシ(生理食塩液で溶解)を30分かけて点滴静注します。イメンドはエルプラットを投与する1時間前に服用します。
- ・ アービタックス(生理食塩液で溶解)は、2時間かけて点滴静注します。
- ・ アービタックス投与終了後、生理食塩液100mlを点滴静注します。
- ・ アービタックス投与終了後、1時間位、副作用などの症状がでていないかを観察します。
- ・ アービタックス投与終了1時間後より、mFOLFOX6療法を開始します。
- ・ 2週間ごとに繰り返します。

◆ 第1日目 レスタミンコーワ5錠 内服

| 本 管 | 側 管 |
|---|--|
| 30分 デカドロン・アロキシ点滴静注 (生理食塩液 100ml で溶解)  | |
| 生理食塩液 50ml 点滴静注  | |
| イメンド1錠服用 | 2時間 アービタックス点滴静注 (生理食塩液 250ml で溶解)  |
| | 生理食塩液 50ml 点滴静注  |
| 2時間 レボホリナート点滴静注 (生理食塩液 250ml で溶解)  | 2時間 エルプラット点滴静注 (5%ブドウ糖液 250ml で溶解)  |
| | 3分 5-FU静注  |
| 約 46 時間 5-FU 持続注入 (携帯型ポンプにて) (生理食塩液で溶解)  | |

◆ 第2日目・3日目

- ・ 午前中に、イメンドを1錠服用します。
- ・ 5-FU は、1日目から3日目にかけて (約 46 時間)、携帯型ポンプにて持続注入します。